

# 鳥インフルエンザのヒトへの感染事例の概要

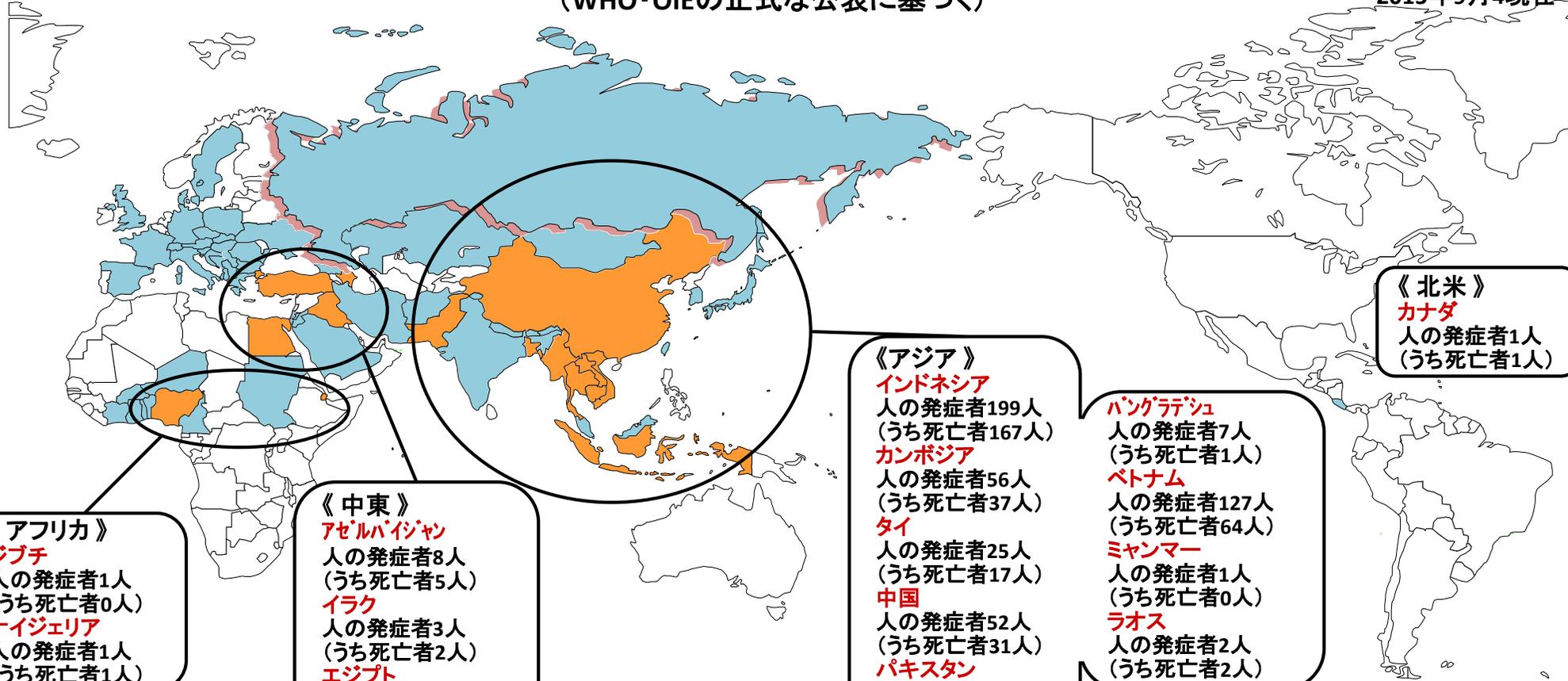
平成27年10月29日  
厚生労働省健康局結核感染症課

# 鳥インフルエンザ(H5N1)発生国及び人での確定症例(2003年11月以降)

WHOの確認している発症者数は計844人(うち死亡449人)となっている。持続的なヒト-ヒト感染は認められていないが、平成27年にエジプトで発症者数の増加が見られており、継続して状況を注視している。

(WHO・OIEの正式な公表に基づく)

2015年9月4日現在



《アフリカ》  
**ジブチ**  
 人の発症者1人  
 (うち死亡者0人)  
**ナイジェリア**  
 人の発症者1人  
 (うち死亡者1人)

《中東》  
**アゼルバイジャン**  
 人の発症者8人  
 (うち死亡者5人)  
**イラク**  
 人の発症者3人  
 (うち死亡者2人)  
**エジプト**  
 人の発症者346人  
 (うち死亡者116人)  
**トルコ**  
 人の発症者12人  
 (うち死亡者4人)

《アジア》  
**インドネシア**  
 人の発症者199人  
 (うち死亡者167人)  
**カンボジア**  
 人の発症者56人  
 (うち死亡者37人)  
**タイ**  
 人の発症者25人  
 (うち死亡者17人)  
**中国**  
 人の発症者52人  
 (うち死亡者31人)  
**パキスタン**  
 人の発症者3人  
 (うち死亡者1人)

**バングラデシュ**  
 人の発症者7人  
 (うち死亡者1人)  
**ベトナム**  
 人の発症者127人  
 (うち死亡者64人)  
**ミャンマー**  
 人の発症者1人  
 (うち死亡者0人)  
**ラオス**  
 人の発症者2人  
 (うち死亡者2人)

《北米》  
**カナダ**  
 人の発症者1人  
 (うち死亡者1人)

注) 上図の他、人への感染事例として、  
 1997年香港(H5N1 18名感染、6人死亡)  
 1999年香港(H9N2 2名感染、死亡なし)  
 2003年香港(H5N1 2名感染、1人死亡)  
 2003年オランダ(H7N7 89名感染、1人死亡)  
 2004年カナダ(H7N3 2名感染、死亡なし)  
 2007年英国(H7N2 4名感染、死亡なし)  
 2012年メキシコ(H7N3 2名感染、死亡なし)  
 2014年中国(H5N6 3名感染)  
 2015年エジプト(H9N2 3名感染)  
 2011、2015年バングラデシュ(H9N2 2名感染)等がある。

■: 家きん等での高病原性鳥インフルエンザH5N1が認められた国  
 ■: 人でのH5N1発症が認められた国

# WHOに報告されたヒトの鳥インフルエンザ(H5N1)確定症例数

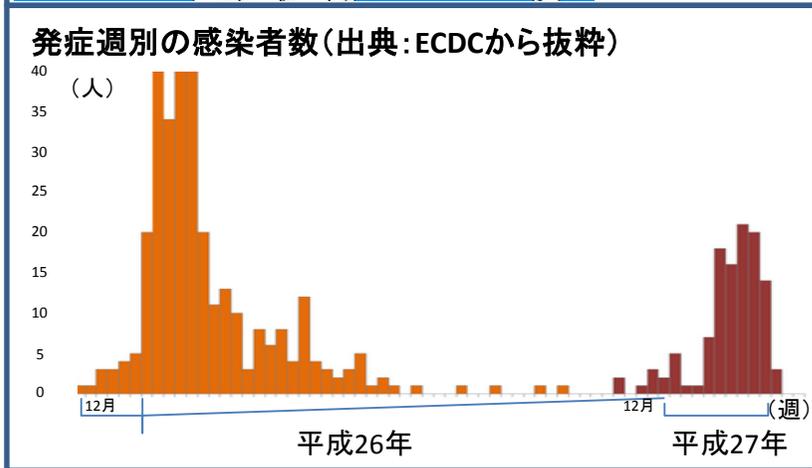
(2015年9月4日現在)

	2003年		2004年		2005年		2006年		2007年		2008年		2009年		2010年		2011年		2012年		2013年		2014年		2015年		合計	
	症例数	死亡数	症例数	死亡数																								
アゼルバイジャン	0	0	0	0	0	0	8	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	5
バングラデシュ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	3	0	1	1	0	0	0	0	7	1
カンボジア	0	0	0	0	4	4	2	2	1	1	1	0	1	0	1	1	8	8	3	3	26	14	9	4	0	0	56	37
カナダ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	1	
中国	1	1	0	0	8	5	13	8	5	3	4	4	7	4	2	1	1	1	2	1	2	2	2	0	5	1	52	31
ジブチ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
エジプト	0	0	0	0	0	0	18	10	25	9	8	4	39	4	29	13	39	15	11	5	4	3	37	14	136	39	346	116
インドネシア	0	0	0	0	20	13	55	45	42	37	24	20	21	19	9	7	12	10	9	9	3	3	2	2	2	2	199	167
イラク	0	0	0	0	0	0	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2
ラオス	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
ミャンマー	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
ナイジェリア	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
パキスタン	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1
タイ	0	0	17	12	5	2	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25	17
トルコ	0	0	0	0	0	0	12	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	4
ベトナム	3	3	29	20	61	19	0	0	8	5	6	5	5	5	7	2	0	0	4	2	2	1	2	2	0	0	127	64
合計	4	4	46	32	98	43	115	79	88	59	44	33	73	32	48	24	62	34	32	20	39	25	52	22	141	40	844	449

注: 確定症例数は死亡例数を含む。  
WHOは検査で確定された症例のみ報告する。

# 鳥インフルエンザA(H7N9)のヒトへの感染の対応について

経緯：平成25年3月以降、新たな鳥インフルエンザA(H7N9)ウイルスのヒト感染患者677名の報告がある※。感染患者のうち、少なくとも271名の死者が報告されている※ ※。発生地域は中国(2市13省2自治区)、香港特別区・台湾・マレーシア・カナダ(輸入症例)(図)。平成26年末から再び患者数の増加が見られるが、継続して状況を注視している。 ※WHOの平成27年9月4日発表に基づく。 ※ ※死者数は中国国家衛生計画生育委員会平成27年9月9日発表に基づく。



- ### 主な特徴
- 感染源は未確定だが、生きた家きん等との接触による可能性が最も高い。
  - 持続的なヒト-ヒト感染は認められていない。

- ### 厚生労働省の主な対応
- 法的整備：感染症法に基づく二類感染症に位置づけ  
検疫法に基づく検疫感染症に位置づけ
  - 検疫：検疫所の検査体制の整備、検疫所での注意喚起(ポスターや健康カード等)
  - 国内監視体制：自治体(地方衛生研究所)の検査体制の整備
  - 情報収集・発信：WHOや専門家ネットワーク等を活用した情報収集・分析、国立感染症研究所リスクアセスメントの発信
  - ワクチン：パンデミック発生時にプロトタイプワクチンとして対応可能。H7N9のワクチンは臨床試験を実施中。